

もうすぐ発表会、保育室からは演奏とともに子供たちの元気な歌声が聞こえてきて、心地の良い雰囲気が出ています。曲が流れると音楽の歌を口ずさむ子がいたり、(下線は同じ内容になっています) ダンスの曲に気が付いた子が嬉しそうに踊り始めたり、さらに同調したかのように(友達の楽しそうな様子に?) 他の友達も集まってみんなで踊りが始まって…。 “もっと踊りたい! もっとお友達と歌っていたい” という様子でした。



手をつなごう〜♪



いっぱいいたくぞ〜!

徐々に膨らんできた楽しい気持ちは、表情だけでなく言葉にも表われています。「大きな声で歌うんだ」「タンバリンをいっぱい叩くんだ!」「早く体操したいな…」といった声が子供たちから聞こえるようになり、“わくわく感”でいっぱいになっています。

友達や先生と一緒に活動することに喜びを感じられるようになってきた年少さん。これからやってくる発表会は、初めてのことばかりなので、“幼稚園ではない場所でいつも一緒にいるみんなと楽しく遊んで…” というような感覚で迎えることでしょう。私たち教師は、本物の舞台の中で安心して伸び伸びと表現を楽しんでほしい、さらに年中児・年長児のダイナミックな体操や演技に触れて、憧れの気持ちをもってほしい、そんな思いをもちながら日々の保育を進めています。



お兄さんたちの  
縄跳びすごいなあ〜!



なんだが楽しそう!

子供たちの中には「“発表会”って何をするの?」「どんなところなんだろう?」と感じている子も多いので、少しでも安心して当日を迎えられるように、昨年の映像を観られる環境を整えました。お兄さんお姉さんの姿を観ながら「すごい!」「上手ー!」と嬉しそうにしていたり、中にはまるで自分が舞台上で踊っているかのように身ぶり手ぶり動かしたりする子もいて、とても盛り上がっていました。このような機会から、憧れや当日を楽しみにする気持ちに繋がっていきます。

先日行われた『きてみて幼稚園』では、おうちの方からの温かいまなざしに囲まれた子供たち。中には恥ずかしくなったりドキドキしたり嬉しくて仕方なかったりと、色々な表情がありました。しかし、この経験で得た「おうちの人たちが応援してくれるんだ」という安心感が、子供たちの背中を温かく押してくれると思います。当日もお客様に観てもらったことの気持ちよさを感じつつ、歌や踊り、体操を思い切り楽しんでほしいです。

初めての発表会が、どの子にとってもかけがえのない日になることを願っています。



かわいい天使になったよ！



とんとんばあ♪